

刈谷市に有料老人ホーム

介護サービス事業の OCA



完成した「みどり刈谷」



稲垣則康代表取締役顧問

4億5000万円投資 12月までに満室目指す

介護サービス事業を手掛けるOCA（オーシーエー、本社安城市北山崎町大山9の2、稲垣則康代表取締役顧問、電話0566・71・3401）は、刈谷市で住宅型有料老人ホームの運営に乗り出す。4億5千万円を投じて建物を建設。12日から入所者を順次、受け入れる。全42室で、12月までに満室を目指す。2023年8月期の売上高は1億9500万円を見込んでいる。

（刈谷・松田理恵子）

有料老人ホーム「みどり刈谷」は、刈谷市小垣江町己改13の2の敷地面積約2759平方メートルに建設した。3階建てで延べ床面積は1734平方メートル。スタッフは

30人体制でスタートする。みどり刈谷の開設に合わせ、グループ会社のオレンジ生活サービス（本社知立市）で展開している刈谷市の定期巡回随時対応型訪問介護・看護サービスをOCAに移管する。

稲垣顧問は「有料老人ホームを第2の我が家と位置付け、西三河地域の高齢者が日常生活を自宅で長く送ることができるよう、在宅生活を支援していきたい」と話している。

同社は、2018年設立。みどりオレンジグループとして、安城市で住宅型有料老人ホーム「オレンジ」を運営するOSS（本社安城市）、知立市で同「オレンジnoah」を運営するオレンジ生活サービス、介護付き有料老人ホーム「みどりの家」などを運営する碧介護サービス（本社安城市）と4社体制を構築している。グループ年商は11億8300万円。